

Secure Terminal

ホスト・エミュレーター

TermPro

ユーザース・ガイド

Version 2.0.8

一般的な注意

1. 本書の内容の一部または全部の無断転載・無断複写を禁止します。
2. 本書の内容は予告無しに変更することがあります。
3. 運用した結果の影響につきましては、本書の内容に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また、本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権の諸問題については、当社は一切その責任を負うことはできません。
5. 製品内部の改造が行われた場合、当社は一切責任を負うことはできません。

商標について

本書中、以下は各社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM、S/390、AS/400は、米国 IBM Corporationの商標または登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品/役務の名称は、それぞれ各社が保有する商号、登録商標または出願中の商標です。

第 2.0.8 版 2025 年 4 月



このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

本ソフトウェア、およびマニュアルの一部、または全部を無断で複製することはできません。

また、運用した結果の影響につきましては、本書の内容に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

©2005,2025 JBCC Corporation

はじめに

TermProはIBMホストコンピュータS/390環境およびAS/400環境で動作するホスト・エミュレーターです。

本書にはご使用いただくときの設定や制限事項等重要な情報が含まれています。

また、TermProの使用方法は、Windows CE版とWindows版とで、一部異なる部分があります。それらについては、本書中にOSの違いによる説明として記述されています。

TermProご使用の際には、事前にこのユーザーズ・ガイドをよくお読みください。

本書が適用される機種は以下の通りです。

- ・ SecureTerminal T300E (Windows CE 版)
- ・ SecureTerminal T500E (Windows CE 版)
- ・ SecureTerminal T311E (Windows XP Embedded 版:T312E/T313E/T322E/T323E を含む)
- ・ SecureTerminal T511E (Windows XP Embedded 版)
- ・ SecureTerminal T711E (Windows XP Embedded 版)
- ・ SecureTerminal Mobile Note T911E (Windows XP Embedded 版:T911E-01 を含む)
- ・ SecureTerminal Mobile Note T1023E (Windows XP Embedded 版)
- ・ SecureTerminal T3133E (Windows Embedded Standard 2009 版)
- ・ SecureTerminal T6133E (Windows Embedded Standard 2009 版)
- ・ SecureTerminal T6144E (Windows Embedded Standard 7 版)
- ・ SecureTerminal T6154E (Windows Embedded Standard 7 版)
- ・ SecureTerminal T8175E (Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSC 版)
- ・ SecureTerminal T8286E (Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC 版)
- ・ SecureTerminal T8286E01 (Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC 版)
- ・ SecureTerminal T9196E (Windows 11 IoT Enterprise 2024 LTSC 版)

目次

1 章.TermPro セッションの作成と起動.....	2
2 章.設定／編集セッション	4
2.1 接続情報.....	4
2.2 ディスプレイ用 EBCDIC→ASCII 変換テーブル	5
2.3 キーボード設定	6
2.4 接続タイプ（ASCII セッション）	7
2.5 ホスト設定（ディスプレイセッション）	8
2.6 プリンタ設定	9
2.7 LPD 設定.....	10
3 章. エミュレーションセッションの使用	12
3.1 セッション画面.....	12
3.1.1 [ファイル(F)] メニュー	15
3.1.2 [編集(E)] メニュー	16
3.1.3 [表示(V)] メニュー.....	16
3.1.4 [マクロ(M)] メニュー	17
3.1.5 [設定(S)] メニュー	22
3.1.6 [ウィンドウ(W)] メニュー	25
3.1.7 [ヘルプ(H)] メニュー	25
3.1.8 外字入力	26

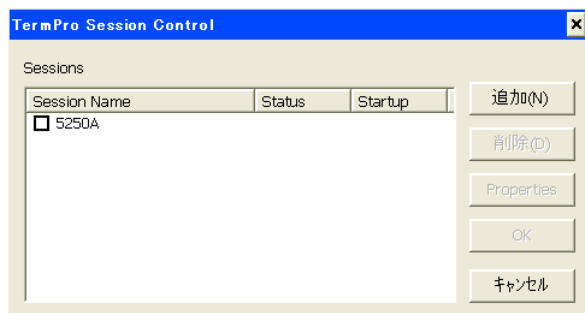
1 章.TermPro セッションの作成と起動

TermPro は、複数の TN5250E (iSeries) 、TN3270E (zSeries) または ASCII (Unix/Linux システム) エミュレーションをおこなうソフトウェアです。各エミュレーションにおけるセッションについては、環境設定や編集をおこなっていただき、起動させてください。
また、TermPro でサポートされているセッションはディスプレイセッションのみです。
プリンタセッションはサポートされていません。

Windows 版の場合：

デスクトップで TermPro アイコンをダブルクリックすると TermPro が起動します。また、起動時に指定したセッションを自動起動する設定が可能です。
自動起動するセッションがない場合は、下に示すような Session Control 画面が表示されます。複数セッションの自動起動を設定していた場合、有効なすべてのセッションを（アルファベット順に）起動し、最初のセッションを表示します。Alt + PageUp のキー操作でセッション間をジャンプすることができます。起動済みのセッションから Session Control 画面に切り替えるときは、メニューバーから[ファイル(F)]、[新規画面(N)]を選択します。

TermPro Session Control



Session Name の列には、作成したセッション名をアルファベット順に表示します。また、セッション名の前に自動実行を設定するチェックボックスが表示されます。
Status の列には、セッションが実行中（アクティブ）なら Active と表示します。
Startup の列には、Session Name の前のチェックボックスにチェックすると、Autostart が表示されます。

新たなセッションを作成するには、[追加 (A)] をクリックします。既存（非アクティブ）のセッションを編集したり調べたりするには、セッション名をクリックしてから、[Properties] をクリックします。環境設定画面について記述している以下の項を参照してください。

非アクティブなセッションを削除するには、セッション名をクリックしてから [削除(D)] をクリックしてください。

セッションを起動するには、セッション名を選択してから、[OK] をクリックしてください。

注意： AutoStart に設定してあるセッションを編集または削除するには、まず Session Control 画面で、Autostart ボックスのチェックを外してください。
Status が Active の時は、Properties 画面に入ったり、削除したりできません。

Windows CE 版の場合：

ターミナルマネージャーの構成タブ[追加(A)]ボタンをクリックし、[新しい接続]ダイアログボックス内の[IBM ホスト・エミュレーター]を選択することにより TermPro の設定、追加、自動起動をおこなうことができます。



自動起動にしたい場合は接続名を選択後、[スタートアップ(S)]ボタンをクリックしてください。ターミナルマネージャーの詳細は *SecureTerminal CE(Windows CE)版* ユーザーズ・ガイドをご覧ください。

ショートカットキー

以下のショートカットキーにより動作中の接続の移動、ターミナルマネージャーへの復帰、端末設定画面の表示などができます。

Alt + Ctrl + End :

接続画面から [ターミナルマネージャー] ダイアログボックス（または接続ボタン、接続タスクバー）に戻ります。

Alt + Ctrl + ↑ :

前の動作中の接続に切り替えます。（他の動作中の接続がない場合は切り替わりません。）

Alt + Ctrl + ↓ :

次の動作中の接続に切り替えます。（他の動作中の接続がない場合は切り替わりません。）

Alt + Ctrl + Home :

デフォルト接続に移ります。

2 章.設定／編集セッション

以下の画面でエミュレーションセッションを定義します。

2.1 接続情報

プロファイル名(N) :

セッションを識別できる任意の名前を入力してください。プロファイル名は他と重複しないものにしてください。この名称は、

Windows版の場合 : TermPro Session Control BoxのSession Nameの列に、

Windows CE版の場合 : ターミナルマネージャーの接続名に表示されます。

注意 : プロファイル名にはスペースを含めないでください。

セッションタイプ(T) :

セッションタイプをTN5250、TN3270、ASCIIの中から1つ選択します。

セッションモデル(M) :

この項目は選択した[セッションタイプ]によって異なります。

以下の表を参照してください。

セッションタイプ	セッションモデル
TN5250	5555-C01 (24x80)
	5555-C01 (27x132)
	5555-B01
TN3270	3278-2-E
ASCII	VT100
	VT220
	VT320
	VT420 7-Bit
	VT420 8-Bit
	ANSI-BBS
	SCO-ANSI
	IBM3135-31
	WYSE-50
	WYSE-60

言語(L) :

希望のホストコードページを選択します。

フルスクリーン(F) (ディスプレイ専用) :

このボックスをチェックし、エミュレーション画面を全画面表示します。このモードは、キーボードからの入力のみ (マウスカーソルなし) の 'グリーン画面' ダムターミナル (簡易端末装置) として表示します。Windowsのタイトルバーやステータスラインは表示しません。

文字領域でNUM Lockする(F) :

このボックスは数値領域が文字データを受付可能な場合にチェックしてください。

拡張(A) :

クリックしてディスプレイ用『EBCDIC → ASCII変換テーブル』を表示します。
編集手順は表の中で、旧コードに新たなコードを上書きします。

2.2 ディスプレイ用EBCDIC→ASCII変換テーブル

EBCDIC → ASCII 変換テーブル

第1バイト文字コード(16進)

	4x	5x	6x	7x	8x	9x	Ax	Bx	Cx	Dx	Ex	Fx
x0	20	26	2D	5B	5D	BF	16	5E	7B	7D	24	30
x1	A1	AA	2F	69	B1	C0	7E	11	41	4A	10	31
x2	A2	AB	61	6A	B2	C1	CD	17	42	4B	53	32
x3	A3	AC	62	6B	B3	C2	CE	74	43	4C	54	33
x4	A4	AD	63	6C	B4	C3	CF	75	44	4D	55	34
x5	A5	AE	64	6D	B5	C4	D0	76	45	4E	56	35
x6	A6	AF	65	6E	B6	C5	D1	77	46	4F	57	36
x7	A7	20	66	6F	B7	C6	D2	78	47	50	58	37
x8	A8	B0	67	70	B8	C7	D3	79	48	51	59	38
x9	A9	20	68	60	B9	C8	D4	7A	49	52	5A	39
xA	12	21	20	3A	BA	C9	D5	DA	20	20	20	20
xB	2E	5C	2C	23	71	72	73	DB	20	20	20	20
xC	3C	2A	25	40	BB	20	D6	DC	20	20	20	20
xD	28	29	5F	27	BC	CA	D7	DD	20	20	20	20
xE	2B	3B	3E	3D	BD	CB	D8	DE	20	20	20	20
xF	7C	15	3F	22	BE	CC	D9	DF	20	20	20	20

第2バイト文字

コード

OK

キャンセル

この表はディスプレイセッション上に表示するEBCDIC→ASCII変換を管理するためのものです。この表は通常修正する必要はありません。表を変更するには、変更したいASCII値をクリックします。新たな値を入力しデフォルト値に上書きします。

「コード」をクリックし、16進コードの代わりに文字記号を表示し、ボタン名が「記号」に変わります。

2.3 キーボード設定



「拡張」をクリックして以下に示すようにキーボードをマップします。このマップ上で、マップするキーをクリックし、希望する定義を選択および入力します。このマップはエミュレーション表示画面（「ファイル(F)」－「キーボードリマップ(K)」）からも実行できます。

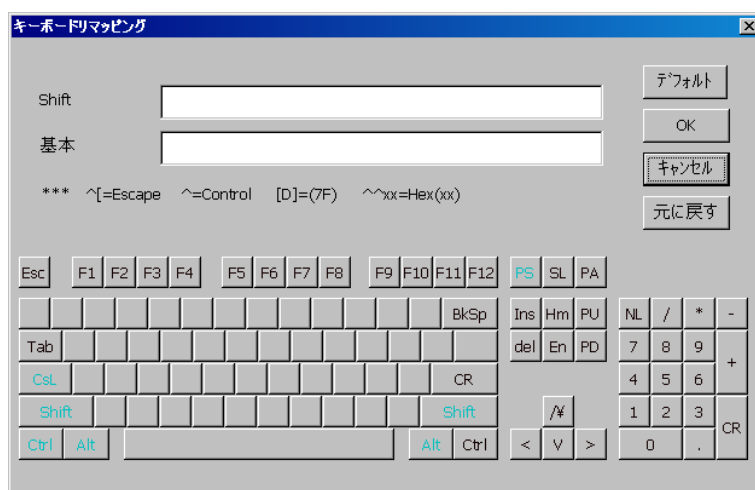
TN5250 用 PC 型キーボードのマッピング



TN3270 用 PC 型キーボードのマッピング



ASCII 用拡張キーボードのマッピング



2.4 接続タイプ (ASCIIセッション)



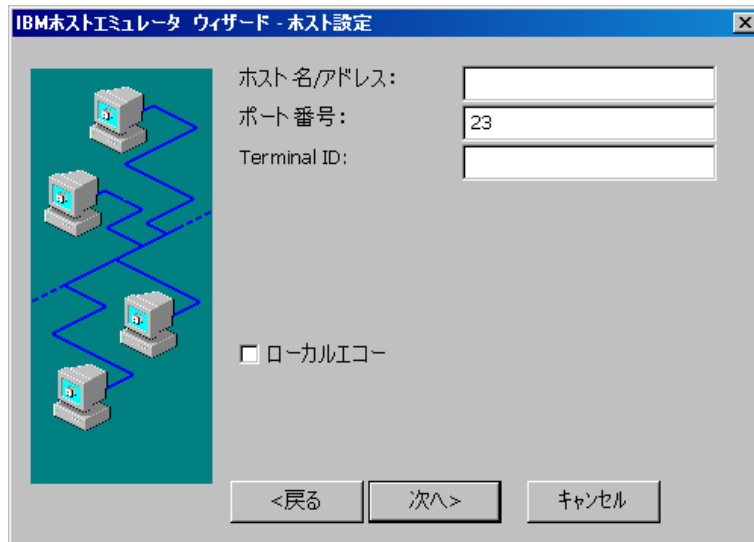
TCP/IP :

このボタンと「次へ>」をクリックして、「ホスト設定」ダイアログボックスを使用します。

シリアル :

サポートされていません。

2.5 ホスト設定（ディスプレイセッション）



ホスト名/アドレス :

完全修飾ドメイン名または静的IPアドレスを入力します。

ポート番号 :

ホスト上Telnet用TCP/IPポートを入力します。デフォルト値はポート23です。

ワークステーションID : (TN5250)

ホストの装置名。

LU名 : (TN3270)

ホストの装置名。

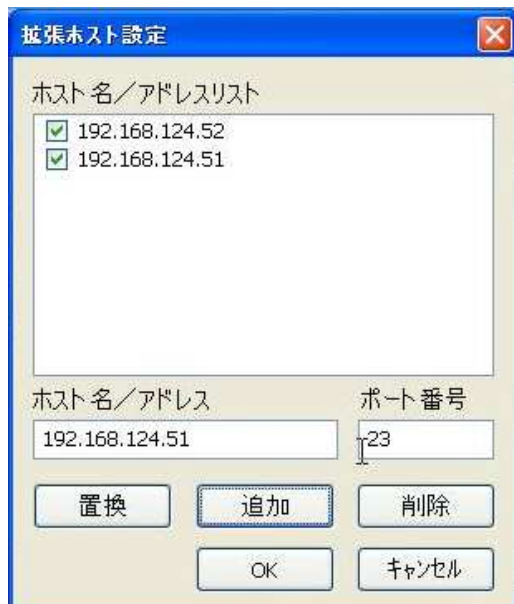
Terminal ID : (ASCIIのみ)

Terminal IDを入力します。

ローカルエコー : (ASCIIのみ)

チェックし、ローカルエコーを有効にします。

「拡張」をクリックして複数のホストアドレスを設定できます。ホストアドレス以外の設定が同一で複数のホストに接続したい場合使用してください。



2.6 プリンタ設定



プリンタポート：

Windows版の場合： インストール済みのプリンタがリスト。希望するプリンタを選択します。

Windows CE版の場合： LPT1/COM1/COM2/LPRがリスト。希望するポートを選択します。

プリンタタイプ：

IBM ROM Printerです。（IBM5577エミュレーションを搭載するプリンタが接続できません。）

プリンタコード：

SJISのみ選択可能です。

拡張：

「拡張」をクリックして、プリンタ用EBCDIC→ASCII変換テーブルを表示または編集します。

プリンタ用 EBCDIC → ASCII 変換テーブル

	4x	5x	6x	7x	8x	9x	Ax	Bx	Cx	Dx	Ex	Fx
x0	20	26	2D	5B	5D	BF	FF	5E	7B	7D	24	30
x1	A1	AA	2F	69	B1	C0	7E	80	41	4A	80	31
x2	A2	AB	61	6A	B2	C1	CD	FE	42	4B	53	32
x3	A3	AC	62	6B	B3	C2	CE	74	43	4C	54	33
x4	A4	AD	63	6C	B4	C3	CF	75	44	4D	55	34
x5	A5	AE	64	6D	B5	C4	DD	76	45	4E	56	35
x6	A6	AF	65	6E	B6	C5	D1	77	46	4F	57	36
x7	A7	20	66	6F	B7	C6	D2	78	47	50	58	37
x8	A8	B0	67	70	B8	C7	D3	79	48	51	59	38
x9	A9	20	68	60	B9	C8	D4	7A	49	52	5A	39
xA	A0	21	20	3A	BA	C9	D5	DA	20	20	20	20
xB	2E	5C	2C	23	71	72	73	DB	20	20	20	20
xC	3C	2A	25	40	BB	20	D6	DC	20	20	20	20
xD	28	29	5F	27	BC	CA	D7	DD	20	20	20	20
xE	2B	3B	3E	3D	BD	CB	D8	DE	20	20	20	20
xF	7C	FD	3F	22	BE	CC	D9	DF	20	20	20	20

この表はプリンタ用EBCDIC→ASCII変換を管理するためのものです。この表は通常修正する必要はありません。ある文字がプリンタで間違ったASCII値で印字される場合は、プリンタマニュアルを使用し、この文字のASCII HEX値および入力したい値のASCII HEX値を特定します。表の中から間違った値を見つけ、その値をクリックし、正しい値を入力します。この画面を終了するには、[OK] または [キャンセル] をクリックします。

2.7 LPD設定

このダイアログボックスはTN3270画面コピーに関してのみ有効です。この機能を有効にするには、必要な欄にLPD (Line Printer Daemon) ホスト IPアドレスおよびLPDプリンターのキュー名を入力してください。

LPD ホストアドレス :

このフィールドは既存のプリンタサーバーのIPアドレス用です。

LPD プリンタ名 :

このフィールドはLPDのキュー名用です。この名前は大文字と小文字を区別します。

3 章. エミュレーションセッションの使用

本項ではディスプレイセッション画面およびユーザー入力オプションについて記述します。

3.1 セッション画面

セッション画面 (TN5250 例)



コントロールバー :

各ディスプレイセッションの上部のバーは以下の2つのセクションから成ります。

メニューバーには次の7つのオプションがあります :

[ファイル(F)]、[編集(E)]、[表示(V)]、[マクロ(M)]、[設定(S)]、[Window] [ヘルプ(H)]。

メニューオプションは以下のセクションで記述します。

ツールバーには次のアイコンがあります (左から右) :

ルーラー、コピー、貼り付け、キーパッド、カラーマッピング、キーマッピング、マクロ再生 / 一時停止 / 停止 / 記録、外字 (*)、ヘルプ

(*) ツールバーの外字ボタンはCE版にのみ表示されます。外字の詳細は「3.1.8 外字入力」をご参照ください。

ツールバーアイコン：

	ルーラー	クリックしてルーラーのオン／オフを切り替えます。ルーラー種類の選択については「設定(S)」を参照。
	コピー	選択した範囲をコピーします。「編集(E)」を参照。
	貼り付け	コピーした範囲を貼り付けます。「編集(E)」を参照。
	キーパッド	キーパッドを表示します。「ファイル(F)」を参照。キーパッドの設定については「設定(S)」－「キーパッド(K)」を参照。
	カラーリマッピング	色を変えます。「設定(S)」参照。
	キーボードリマッピング	「キーボードタイプ」ダイアログボックスに続いて表示するキーボードマップを参照。
	再生	マクロ再生－「マクロ(M)キー」を参照。
	一時停止	マクロ一時停止－「マクロ(M)キー」を参照。
	停止	マクロ記録停止－「マクロ(M)キー」を参照。
	記録	マクロ記録－「マクロ(M)キー」を参照。
	外字	CE版で外字を入力するときを使用。「3.1.8外字入力」参照。
	ヘルプ	端末についての基本情報の表示。

操作員情報エリア：

右の領域は、カーソル位置、行 (R) と列 (C) を表示します。左の領域は、状態標識と特殊標識から成ります（常には表示しない）。それぞれ現在のセッションとホストシステムの状態を示します。

状態標識：

	ホストシステムが利用可能です。
	キーボード入力を禁止しています。 TN3270については、TN3270 Input Inhibitを参照してください。
	キーボードは挿入モードです。
	SHIFTキーを押下しています。
	ホストシステムでメッセージがアクティブセッションを待機中です。 (TN5250)

特殊標識：

	Diacritic Mode	端末はダイアクリティックモードです。スペースバーを押下して文字を確認します。
	Type Ahead	キーボード入力を禁止していてもキー入力が続きます。 可能です。(TN5250のみ)
	Numeric	数値欄 (TN3270のみ)

TN3270入力禁止状態

X-system	システムロック。アプリケーションプログラムがキーボードをロックした。
X 	時間（端末待ち）。ホストは要求への応答にさらに時間が必要。
X  NUM	数値データ専用
X-f	マイナスファンクション
X-s	マイナス記号
X  >	入力過度
X  	別の場所に進む
X  +?	無効ダイアクリティカルマークキーエラー
XPROG nnn	プログラム・チェック。受信データが適切でないためこの記号を表示することがある。nnnの定義については、'IBM 3174 Establishment controller customer problem Determination'を参照してください。

ステータスバー：

この行は表示メニューオプションで表示を無効にできます
セッションタイプ - TN5250またはTN3270
ホストアドレス
デバイス名
A : Caps Lock（英数）キーON
N : Num LockキーON

カーソルとカーソル機能：

エミュレーションカーソルとマウスポインタの2つのカーソルがあります。デフォルト設定はホットスポット機能が有効です。右マウスボタンを使用して、各種の'ホットスポット'をクリックしメニュー番号オプションの選択・実行や画面上のシステム機能キーの実行、エミュレーションカーソル位置で選択した文字列を入力することができます。

ローカル画面印刷：

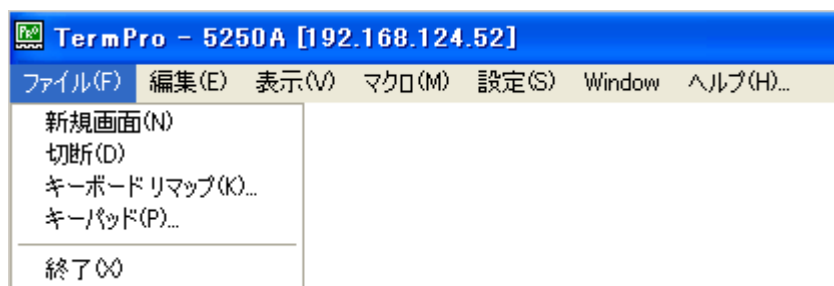
TN5250: Shift+PrintScreenキー入力し、ローカル接続プリンタに出力します。
TN3270: PrintScreenキー入力し、ローカル接続プリンタに出力します。
ASCII: ローカルプリント機能には対応していません。

全画面表示モード：

セッションを全画面表示として設定可能です。このモードは「表示(V)」メニューからも設定可能です。このモードでは、タイトルバーとステータスバーを表示せず、マウスカーソルも表示しません。画面上では、あたかもキーボードからの入力のための'グリーン画面'ダムターミナル（簡易端末装置）のように表示します。

全画面表示モードを終了して標準モードに入るには、左マウスボタンをダブルクリックします。

3.1.1 [ファイル(F)] メニュー



新規画面 :

Windows版の場合 : TermPro Session Control 画面を表示します。

Windows CE版の場合 : ターミナルマネージャーから追加します。
(1章の「WindowsCE版の場合」の項を参照してください。)

切断 / 接続 :

セッションがアクティブの場合、[切断(D)]を選択して、ホストとのセッションを切断します。ホストとの接続が切断されている場合、[切断(D)]の部分は[接続(C)]になります。

[切断確認] ダイアログボックス



キーボードリマップ(K) :

キーボードリマッピング画面については前項を参照してください。

キーパッド(K) :

[キーパッド] ダイアログボックス

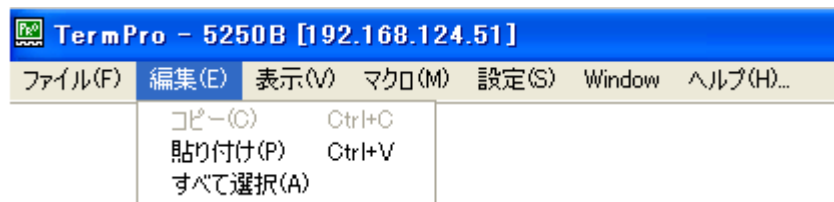


ポップアップキーパッドから頻繁に使用するキーボード機能、またはマクロにアクセスできます。表示位置やサイズの変更が可能です。キーパッドを編集するには、
[設定(S)] - [キーパッド(K)] を参照してください。

終了(x) :

[終了(x)] をクリックすると、ホストとの接続を切断し、セッションウィンドウをクローズします。

3.1.2 [編集(E)] メニュー



コピー(C) :

この機能を使って、データを他のセッションや画面にコピーできます。マウスでコピーする範囲を選択するには、コピーする範囲の端で左マウスボタンをクリックし、マウスカーソルをドラッグしその範囲を指定します。

キーボードでコピーする範囲を選択するには、ALT+SHIFT+矢印キーで範囲を指定します。

貼り付け(P) :

このオプションにより、コピーしたデータを現在のカーソル位置に入れることができます。

すべて選択(A) :

このオプションを使って、画面全体をコピーすることができます。

3.1.3 [表示(V)] メニュー



ツールバー (T) :

Windows版の場合 : このオプションを使うと、画面のメニュー下部行にある現在のツールバー表示を切り替えることができます。

Windows CE版の場合 : この機能はサポートされていません。

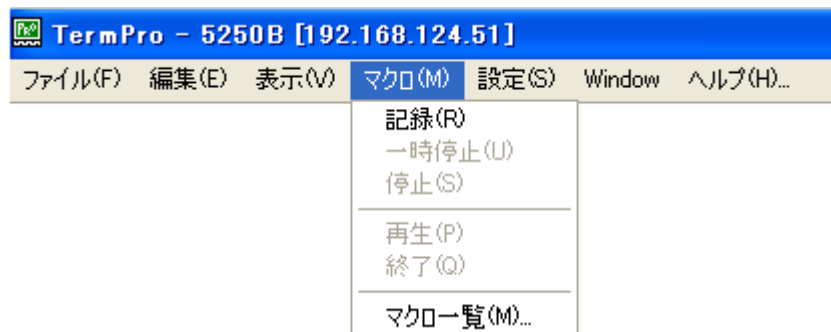
ステータスバー(S) :

このオプションを使うと、画面の下部行にある現在のセッションのステータス表示を切り替えることができます。

全画面表示(F) :

このオプションを使うと、全画面表示モードになります。標準モードに戻るには、左マウスボタンをダブルクリックしてください。

3.1.4 [マクロ(M)] メニュー



頻繁に使用するキー操作をマクロとして登録することができます。
マクロは接続開始後、自動的に実行するよう指定することが可能です。

記録(R) :

マクロを登録するには、カーソルを画面上の希望する位置にカーソルを置きます。次に  ボタンをクリックし、文字、コマンドキー、アクションキー等を入力します。終了したら、  ボタンをクリックします。

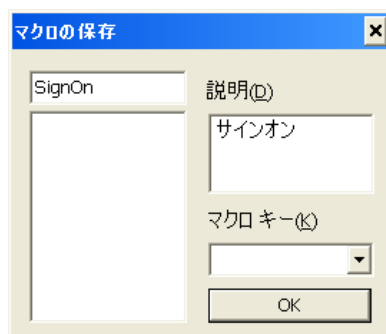
一時停止(U) :

一時停止を使って、実行中にユーザー入力や、2回目の遅延の追加が可能になります。マクロを登録中は、一時停止を選択すると、マクロの記録を一時停止し、その間のユーザー入力を記録しないこともできます。一時停止を実行するとメニューの一時停止(P)が再開(C)に変わります。再開(C)を選択し、マクロの記録を再開します。一時停止がアクティブの時、1～9秒間の遅延をCTRL+ALT+[テンキーで1-9]のように入力し指定することができます。一時停止はそのあいだ非活動状態になります。これは主にTN3270エミュレーションで有用であり、画面の移行（非ホールド状態）を見込んでいます。画面の移行中にキーの押下ができなくなる場合は、遅延を使用してください。

停止(S) :

停止により記録シーケンスは終了します。[停止(S)] を選択した後、ファイル名を入力するか、登録プロセスを取り消すことができます。

[マクロの保存] ダイアログボックス



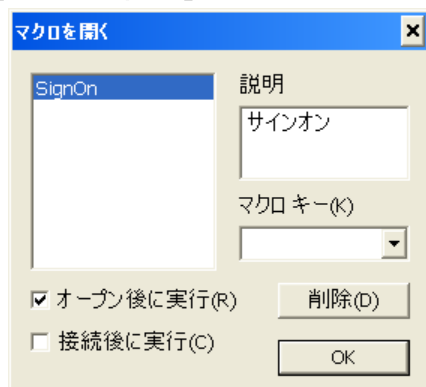
保存したいマクロのファイル名を入力します。後で参照できるようにマクロの説明を入力します。マクロをファンクションキーに割り当てたい場合は、マクロキーをリストから選択してください。

マクロ一覧(M) :

[マクロ一覧(M)] を選択すると、すべてのマクロのリストとその説明が表示されます。

このオプションにより  ボタンをクリックしたときに使用する登録済みのマクロを指定することができます。デフォルトでは マクロをオープン後に実行するようになっているため、[OK]をクリックすると選択されたマクロがすぐに実行されます。選択したマクロをすぐに実行したくない場合は、“オープン後に実行”のチェックを外してください。これでマクロの再生準備ができますが、すぐには再生されません。

[マクロを開く] ダイアログボックス



接続開始後にマクロを自動的に実行するには、リストからマクロを選択し、[接続後に実行(c)]をチェックしてください。

再生(P) :

再生はマクロ一覧からマクロを選択した後、アクティブになります。このオプションは、前もって選択されたマクロファイル内のあらかじめ登録されているキー操作を再生します。

終了(Q) :

このオプションは再生中のマクロを終了するのに使用します。このオプションはマクロが現在再生中の場合のみに利用することができます。

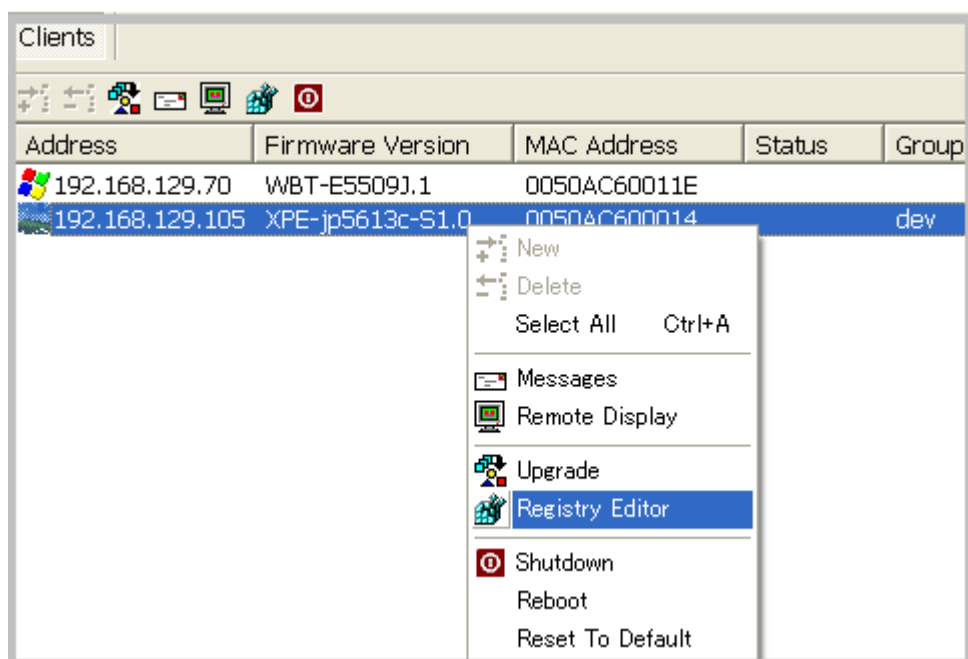
マクロの作成を禁止する：

マクロの作成を制限したい場合は下記の手順でレジストリを変更する必要があります。
(TermPro画面からの設定はできません)

注意：Windows レジストリの変更作業は Windows の操作を熟知した方がおこなってください。また、変更作業の際は、この章をよくお読みいただき、慎重に操作をおこなってください。（設定方法や設定値を誤ると、Windows が立ち上がらないなどの障害が発生する場合があります。）

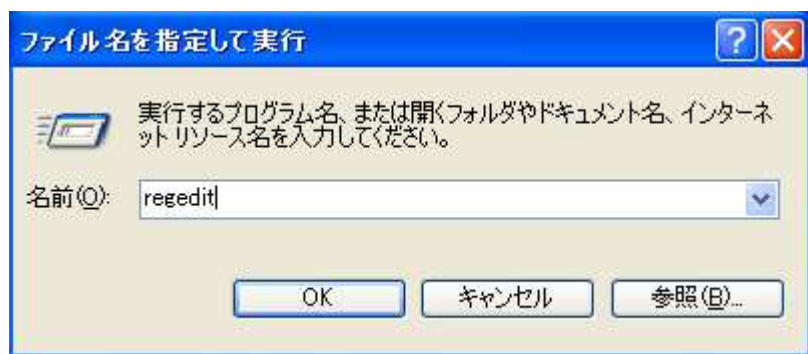
1) Regeditを立ち上げる

SNMP AdministratorからRegistry Editorを起動します。

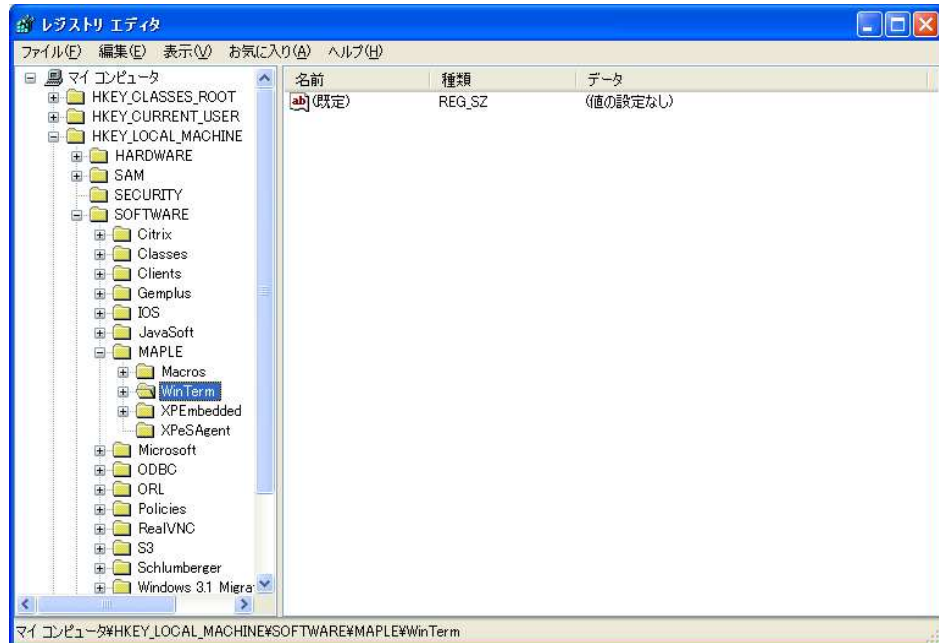


Windows版の場合： 以下の手順でもRegeditを起動できます。

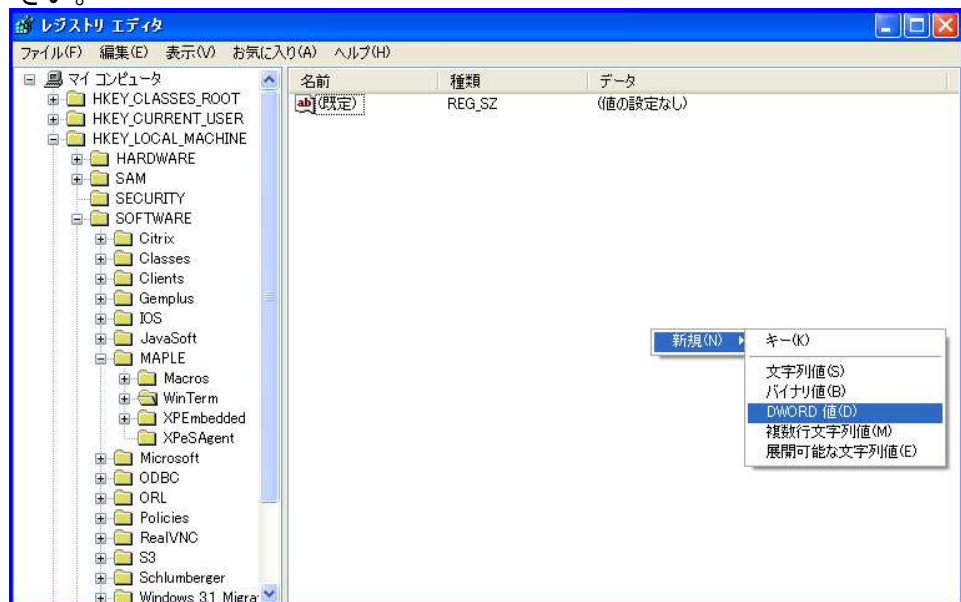
Windows Xpeのスタートメニューより[ファイル名を指定して実行(R)]を選択し、[名前(O)]に「regedit」と入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。



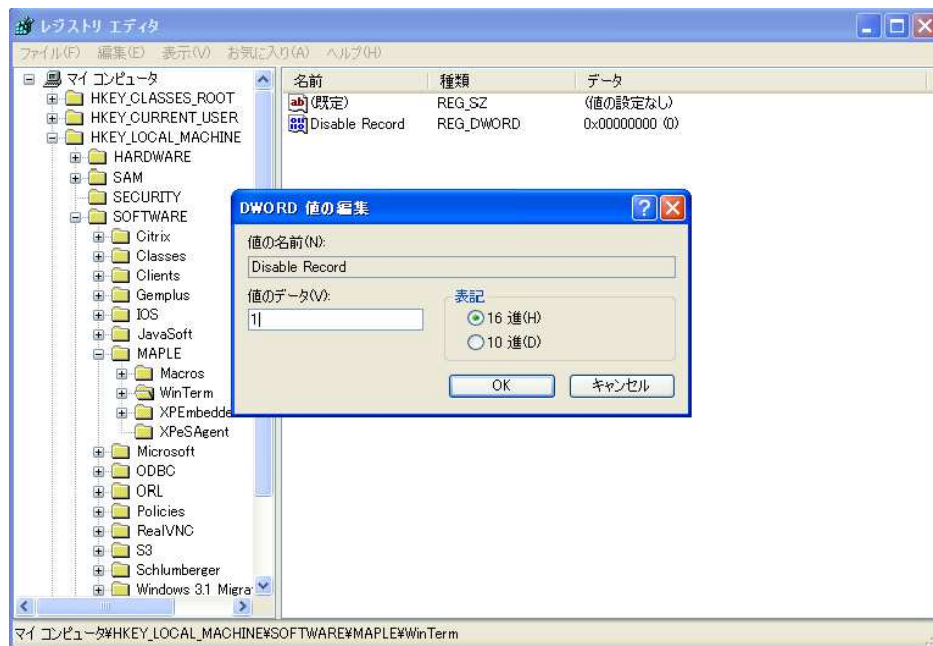
- 2) Regeditを立ち上げ
「HKEY_LOCAL_MACHINE_SOFTWARE」⇒「MAPLE」⇒「WinTerm」の順に選択してください。



- 3) キーの追加
右側のレジストリツリーを右クリックし、新規⇒[DWORD値]を選択してください。



- 4) 値の名前と値データを設定します。
 名前 : Disable Record
 値: 1

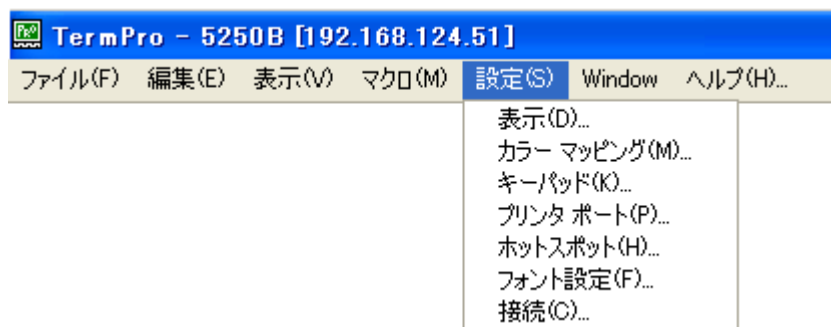


OKボタンをクリックしてレジストリエディタを終了してください。
 有効に戻したい場合は値を0に設定してください。

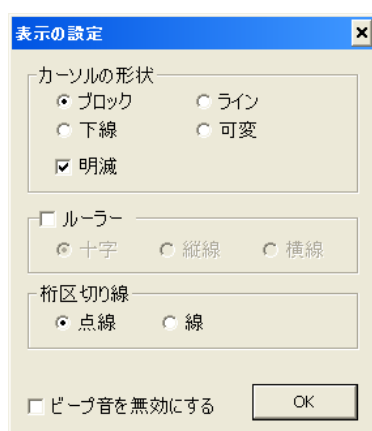
- 5) TermProのセッション画面を立ち上げマクロの記録がDisableになっていることを確認してください。



3.1.5 「設定(S)」メニュー



表示(D) : (ALT+S+D)



「表示の設定」はカーソルの形状、およびルーラー、桁区切り線など表示上の設定をします。

カーソルの形状：

カーソル種類のデフォルトは「ブロック」です。

ルーラー：

ルーラー」をチェックすると、「十字」、「縦線」、「横線」の3つのタイプから1つを選択することができます。

注意：ALT+PageDownキーでルーラーのオン/オフを切り替えることができます。

桁区切り線：

このオプションは「点線」と「線」が選択可能です。（初期値は「点線」です。）

ビープ音を無効にする：

選択するとビープ音が無効になります。

カラーマッピング(M) : (ALT+S+M)



前景色 :

このボックスにより前景色を変えることができます。左のカラーリストから前の色を選択します。[新しい色] ボタンをクリックし、下に示す[色の設定] ダイアログボックスの中から希望する色を選択します。

基本色と異なる色が必要なら、[色の作成(D) >>] をクリックし [色の作成] ダイアログを使用し新たな色を作成します。[OK] をクリックします。新しい色を画面に表示します。

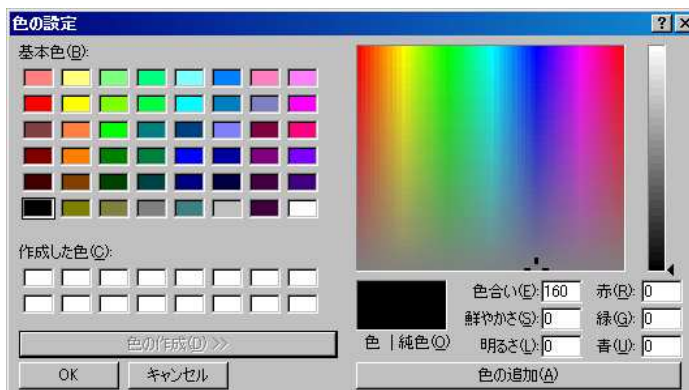
背景色 :

前景色の手順に従って背景色を変えます。

[色の設定] ダイアログボックス



[色の作成] ダイアログボックス



キーパッド(K) : (ALT+S+K)

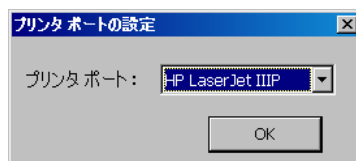


ポップアップキーパッドに表示する内容の設定ができます。

キーパッド サイズを列 x 行に換算して選択します。数値は 1x1 ~ 9x4 の範囲です。

〔システム(s)〕または〔マクロ(M)〕のどちらかのキータイプを選択します。システムキーまたは定義したマクロ名のリストが表示されます。指定したセルに対して希望のエントリをダブルクリックします。

プリンタポート(P) : (ALT+S+P)

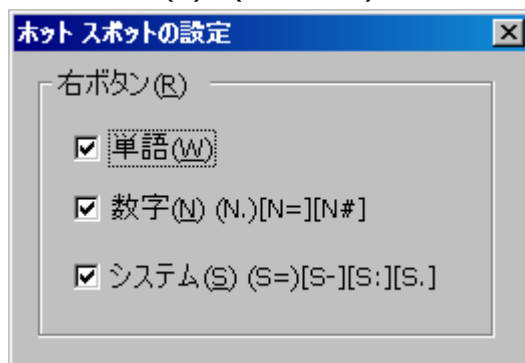


プリンタポート :

Windows版の場合 : インストールしたWindowsプリンタを一覧表示します。

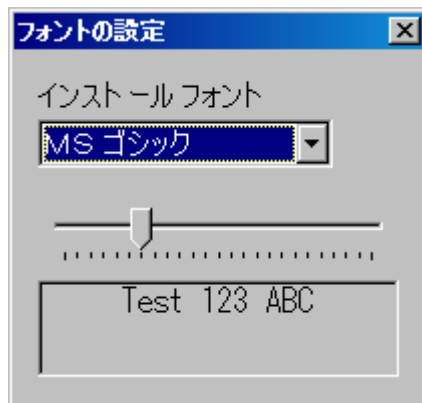
Windows CE版の場合 : LPT1/COM1/COM2/LPRを一覧表示します。

ホットスポット(H) : (ALT+S+H)



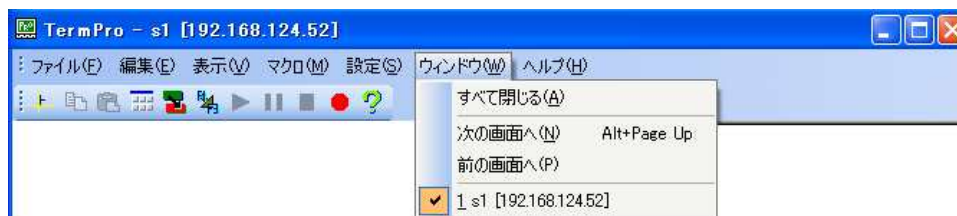
デフォルトで、右マウスボタンを使って、各種ホットスポットをクリックしメニュー番号オプションの選択や実行、画面上に示されたシステム機能キーの実行、またはエミュレーションのカーソル位置に選択した文字列の入力をおこなうことができます。

フォント設定(F) : (ALT+S+F)



希望するフォントを選択します。「MS ゴシック」がデフォルトです。
TermProは固定ピッチTrueTypeフォントのみに対応しています。

3.1.6 [ウィンドウ(W)] メニュー



アクティブなセッションを表示します。

3.1.7 [ヘルプ(H)] メニュー

Windows CE版の場合 : この機能はサポートされていません。

Windows版の場合 : 以下の通りです。



[ヘルプ(H)] をクリックしてから [TermProについて(A)] をクリックし、端末に関する基本情報を表示します。



3.1.8 外字入力

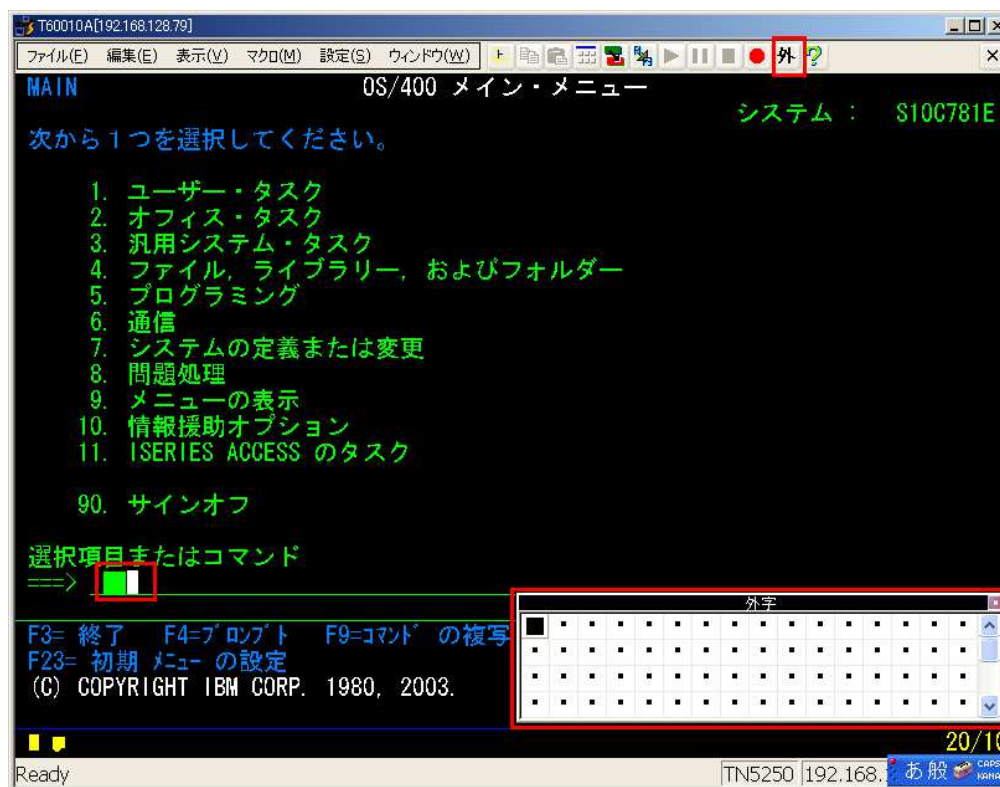
Windows版の場合：

OSの外字エディタで作成した外字ファイルを使用します。漢字モードにし漢字コード入力後F5を押すとIMEパッド文字一覧が表示されますので入力文字を選択します。



Windows CE版の場合：

ツールバーの **外** をクリックし、外字パッドを表示します。登録済みの外字をクリックすると入力できます。



外字のダウンロード方法

CE版で使用する外字は他のPCやサーバーからFTPでファイル転送し、使用します。以下はFTPサーバーが使用できるパソコンを使用して説明しています。

1) 外字ファイルの準備

外字ファイルを任意のパソコンの c:\gaiji_data の下にコピーしておく

外字ファイル名は EUDC.TTC/
EUDT.TTF/
EUDC.TT?

2) FTPサーバーの準備

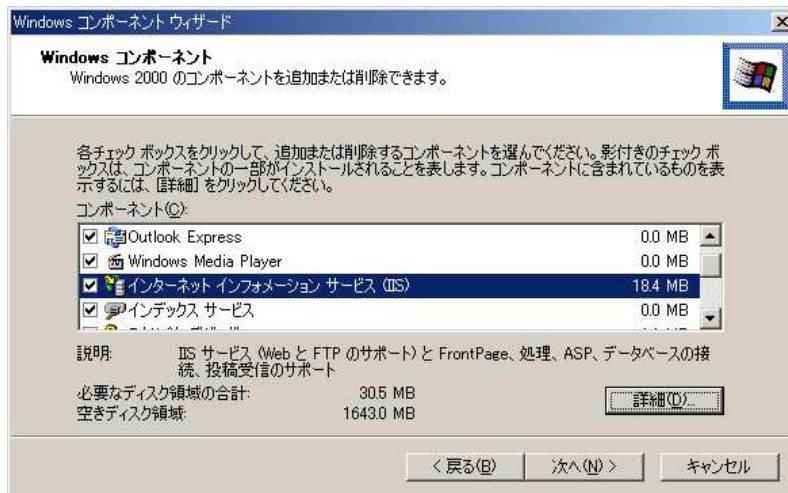
すでにFTPサーバーの準備ができている場合には不要です。

ここではWindows2000 professional上で稼動するMicrosoft インターネットインフォメーションサービス（以下IISと表現します。）上で提供されるFTPサイトを例に説明します。

この作業は必ずAdministratorの権限ユーザーでおこないます。

2.1) IIS のインストール

コントロールパネル⇒プログラムの追加と削除⇒Windows コンポーネントの追加と削除⇒IIS にチェック



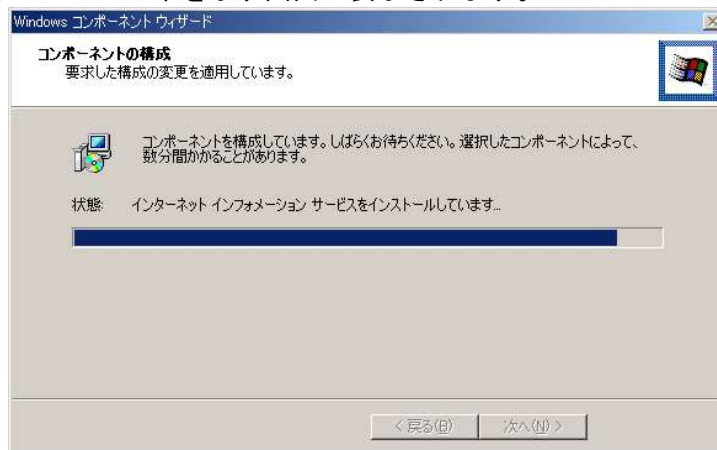
[詳細(D)]ボタンをクリックし、FTP にチェックがあることを確認し、[OK]をクリックします。



[次へ(N)]をクリックするとインストールが始まります。



インストール中を示す画面が表示されます。

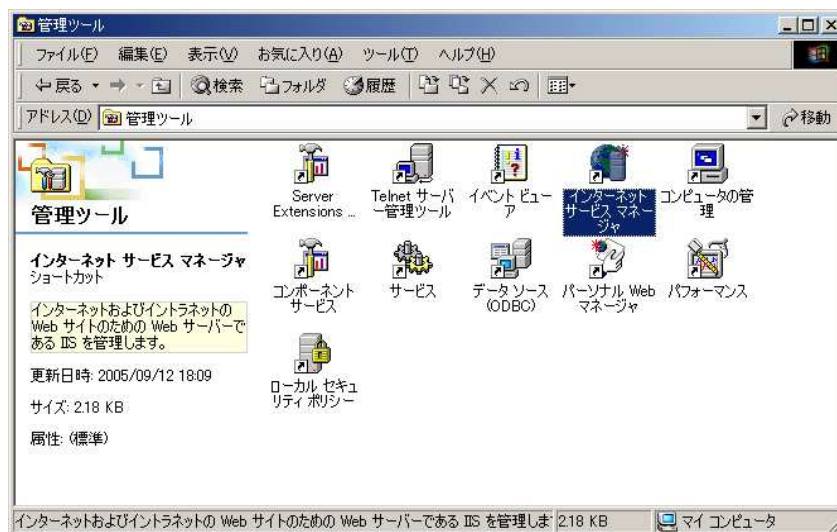


この画面が出たらインストール終了です。

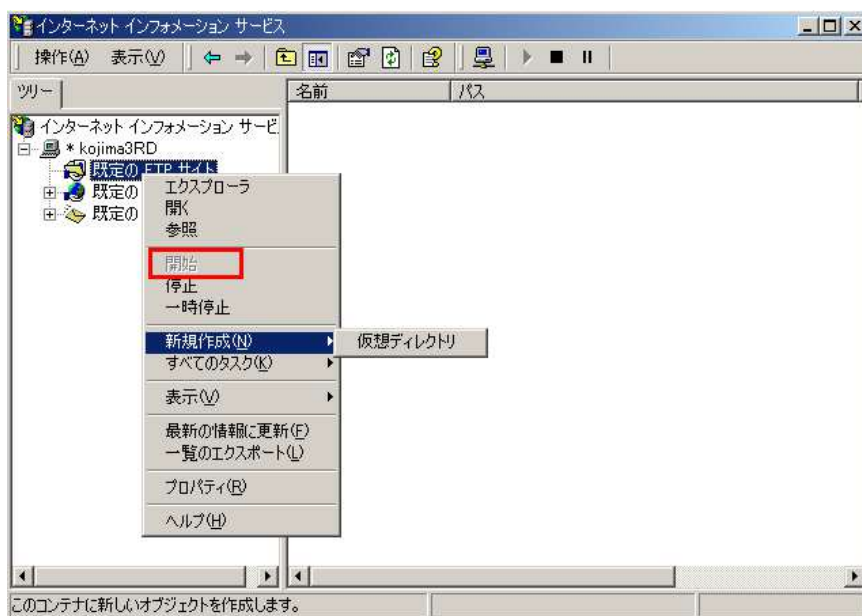


2.2) FTP サーバーの起動

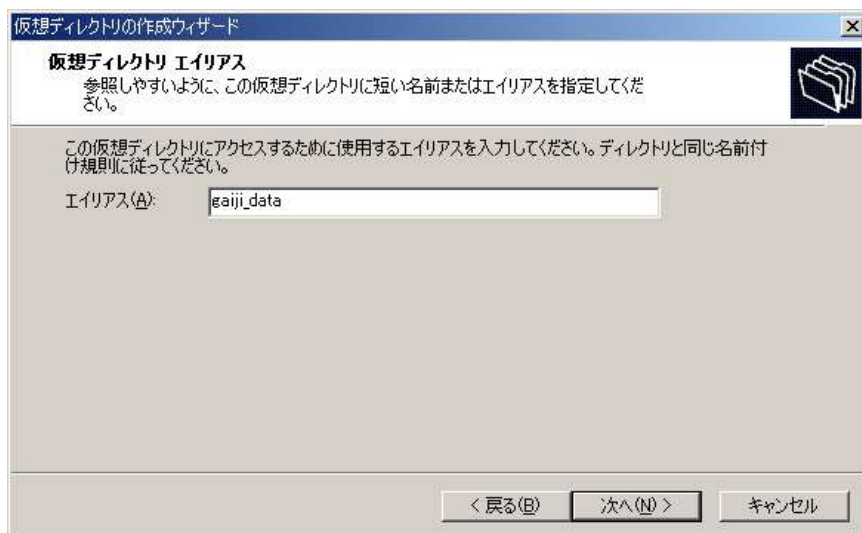
コントロールパネル⇒管理ツール⇒インターネットサービスマネージャーを起動



既定の FTP サイトを探してください。
右クリックすると[開始]がグレースアウトし、すでに FTP サーバーが起動していることが確認できます。
外字ファイルを保存する仮想ディレクトリを作成します。仮想ディレクトリを選択してください。



[次ぎ(N)]へをクリックするとエイリアス設定画面が出ます。
ここで、エイリアス名を入力（下記の例では:gaiji_data に設定）してください。



上記入力後、[次へ(N)]を 2 回クリックすると設定が完了し、次の画面が表示されます。

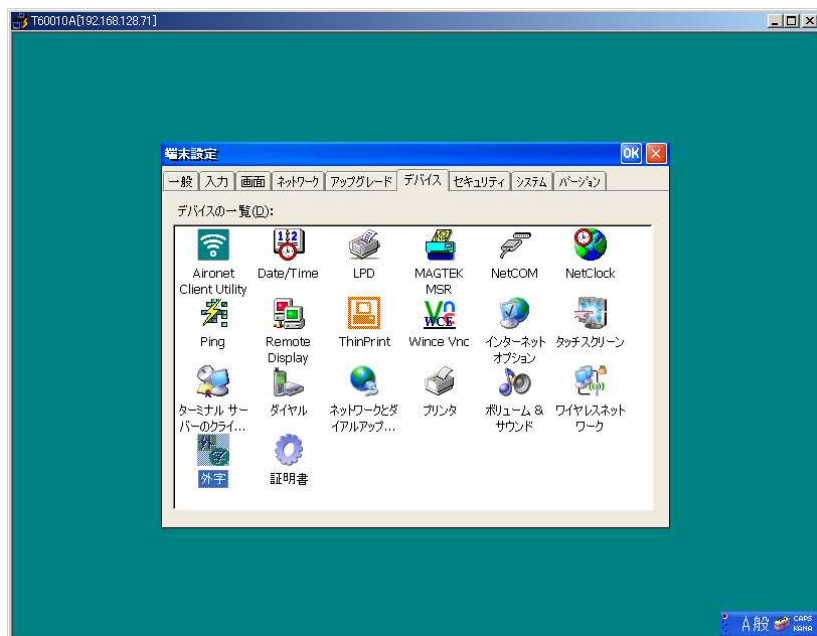


2.3) CE 上のターミナルマネージャーから外字のダウンロード

CE 上で操作します。

F2 を押し端末操作のデバイスタブを開きます。

次に、左下にある外字アイコンをダブルクリックします。



以下の画面が表示されますので、「パス名」「ユーザー名」「パスワード」「外字ファイルフォント名」を入力します。

パス名はFTPサーバーのエイリアス名を入れてください。
ユーザー名とパスワードはFTPサーバーのユーザーです。
外字フォントファイル名はFTPサーバーの c:\gaiji_data の下にコピーして準備した外字ファイル名を入れてください。

外字

サーバー

FTPサーバー 192.168.129.72

パス名 gaiji_data

ユーザー名 Administrator

パスワード ****

ファイル名

☐ サーバー指定

☒ ユーザ指定

外字フォントファイル名 EUDC.EUF

OK ダウンロード

[ダウンロード]をクリックすると以下の画面になるので、[OK]をクリックします。

外字

サーバー

FTPサーバー 192.168.129.72

ダウンロード状況

EUDC.EUF

ダウンロード OK ×

状況 ダウンロード終了

キャンセル

OK ダウンロード

最後に、CE を一度リブートしてください。
以上で外字が有効となります。

SecureTerminal ホスト・エミュレーター
TermPro ユーザーズ・ガイド V2.0.8

SecureTerminal についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

email : csc_hw@jbcc.co.jp
